

物流段階

完成車の輸送、補修用品の輸送、海外ノックダウン部品の輸送などの物流段階において、輸送の効率化、梱包資材の削減・リサイクルなどに取り組み、環境負荷の低減を図っています。

完成車輸送は主に弊社の関係会社のスバル物流(株)が行っており、海外工場での組み立てのための部品などの発送は同じく関係会社のスバル梱包輸送(株)が行っております。

完成車輸送における環境負荷の低減

(スバル物流(株)の取り組み)

当社関係会社のスバル物流(株)は、完成車及び部品の輸送、納車整備などの事業を基盤としていますが、同社の経営課題の一つに「地球環境に対する配慮」を掲げ、2004年2月にISO14001の認証を取得しました。

同社はスバル輸送協力会社と連携し、省エネルギー、物流品質向上などの活動を推進しています。協力会社各社では、運行記録による運行管理・指導を実施するとともに、エコドライブ、アイドリングストップ、車両整備などを積極的に行い、管理面・実務面の両面から省エネ活動を推進しています。

省燃費走行講習会を実施

2003年11月にスバル輸送協力会社とスバル物流(株)及びメーカーの共催でドライバー(12社20名)を対象に省燃費走行講習会を実施しました。省燃費運転走行方法の解説があった後、参加者は同乗した指導員の指示により省燃費走行を体感しました。省燃費走行は交通事故防止、地球環境保護、経費削減となるとの説明があり、講習会は終了しました。



省燃費走行講習会のようす

共同輸送

トラック便の復路を活用するなど他社との共同輸送を進めることによりトラック便の削減が図れますが、2003年度は前年度比12%増の車両を他社に輸送委託しました。

補修用部品輸送における環境負荷の低減

(スバル部品センターの取り組み)

輸送方法の変更によるCO₂排出削減

北海道地区への補修用部品の輸送を船舶輸送から鉄道輸送へ、九州地区への補修用部品の輸送をトラック輸送から鉄道輸送に切り替え、CO₂排出量の削減を図りました。

梱包仕様変更による梱包資材削減

海外に出荷するディスクホイールの梱包仕様の改善に取り組み、梱包材のダンボールを2,270kg削減しました。



ディスクホイール梱包対策前



ディスクホイール梱包対策後

また、エンジン、トランスミッションの木製梱包箱をダンボールに変更して7,860kgの木材を削減しました。



対策前(木製梱包)



対策後(ダンボール梱包)

ダンボール箱の再使用の拡大

国内特約店向けに対しては、専用便で配送している区域については小物部品用のダンボール箱を繰り返し使用していますが、その導入店を拡大しました。

海外向けのノックダウン部品梱包資材の削減

(スバル梱包輸送(株)の取り組み)

梱包資材をリサイクル可能材に変更

精密部品を梱包する際の緩衝材(発泡材)は従来現地で埋め立て処理されてきました。エンジンのシリンダーブロック、シリンダーヘッド、クランクシャフトなど大型のエンジン部品を梱包する際の緩衝材(発泡材)をリサイクル可能材に変更し、リサイクルするようにしました。

防錆シート・除湿材の削減

エンジン部品は非常に錆びやすいため、防錆シートや除湿材を使用していますが、防錆テストを繰り返し行い、可能な範囲で防錆シートや除湿材の削減を行っています。